

# 年頭のご



新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健康で希望に満ちた初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月には「さくらの保育園」、子育て支援センター「にこぼーと」がオープンいたしました。また、11月には白鷹古典桜6本が山形県の天然記念物に

指定され、県指定の文化財となるなど明るい話題もありましたが、7月には昭和42年の羽越水害以来となる未曾有の豪雨災害が発生いたしました。全町にわたる中小河川の氾濫や山腹崩壊、土石流などによる災害の爪痕は、今なお町内全域で見られます。まさか、このような大規模な災害が、わが白鷹町に降りかかるとは思っていませんでした。今後も、いつどのような自然災害が発生するかわかりません。東日本大震災やこの度の豪雨災害を教訓に、改めて災害時における様々な「備え」について考えていくことが重要であります。議会といたしましても、町当局と協力しながら「備え」について検討するとともに、本格的な復旧、復興に向けて、全力で取り組んでまいります。

さて、今年には白鷹町誕生60周年となる記念の年でもあります。昭和29年10月1日、「時代の要請による自治確立の重要性にかんがみ、小異を捨て大同につき挙郷一体の実をあげ、もって地域恒久の福祉の増進を図る」とする白鷹町建設基本方針のもと、白鷹町が誕生いたしました。この精神を改めて思い起こし、将来を見据えたまちづくりを推進していくため、町民の皆様の声を拝聴しながら、一つひとつの課題解決に向けてさらなる努力をしております。そして、町当局と常に適度の緊張感を保ちながら、両輪としての議会の立場を忘れることなく、町民の皆様の負託に応えてまいる所存であります。

以上、年頭にあたり所感と決意の一端を申し上げ、町民の皆様の幸せを願いながらごあいさついたします。

白鷹町議会議長 青木 彰 榮

昨年、山形県の文化財となった殿入ザクラ。